小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	須木小地区	担 当 班	議員名	担当
参加人数	14人		大浦 竹光	司会進行
開催日	平成28年7月21日(木)		◎蔵本 茂弘	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時30分		海老原 幹朗	(経済産業)
会場	ふるさとセンター		高野 良文	(市民厚生)
その他			穴見 嘉宏	(広報広聴)
			穴見 嘉宏	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※ ☐ 市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	<p style="text-align: center;">「より豊かな市民生活の向上を目指して」</p> <p style="text-align: center;">～住民自治に根ざしたきずな協働体について～</p> <p style="text-align: center;">～人口減少対策(雇用対策)について～</p> <p style="text-align: center;">～子育て・少子化対策について～</p>		
【意見交換の概要】			
<p>☐娘が出産したが都城まで行くのは大変だった。産婦人科を何とかしてもらいたい。人口減少についても、小林市で出産できれば子供も増えてくるのではないか。市長さんは住みやすいまち小林といわれているが市はどのように考えているのか。</p> <p>■小林市の人口を維持するとか、九州一安心安全なまちというのであれば、医療を、医師確保を最優先すべきだということで、当局に厳しく要望している。市長も病院も頑張っているようだが厳しい状況だ。県は、西諸の周産期医療は都城に集約する計画のようだが、西諸には県立・国立病院がない。地域医療を考える会が中心になり、西諸の医療の充実を約3万筆の署名を添え県に要望している。</p> <p>☐すきむらづくり協議会で空き家の調査をしているが、その結果が今月末までに各区長から上がってくる。小林に空き家の所有者を呼んでどうするのか聞くということとはできないか。</p> <p>■空き家バンクの登録制度ということで進めている。現在、市内全域で空き家の調査中である。改築をしたり補修したりしないと住めないところもあるため調査は欠かせない。人口を増やすためにも、もっと積極的に議会も行政と一緒に進めていきたい。</p> <p>☐須木中央保育園に子供を預けて、小林で働いている人が多い。軍谷トンネルは、今回、熊本地震があったこともあり、大丈夫なのかと心配している人が多い。冬は、チェーンを巻かないと通れなかったりする。危険度はどのくらいなのか。</p> <p>■土木事務所に聞くと、トンネルをもう一本通すくらいの費用をかけて補修をしたということで安全だとの回答であった。いま、迂回路として橋満林道の整備をすすめているがあ</p>			

と2年で完成予定だ。さらにもう一つ迂回路を確保するというので、旧トンネルの整備の予算化も検討しているようである。

□平成28年度から保育料は上の子が中高学生でも3人目であれば無料になる。そのため保育料に0円から6万円台まで差がありすぎるといって知ってもらいたい。

■無料になるには所得要件もある。市民厚生委員会でも保育料は問題があるということで議論をしている。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□ヲドノの問題はどうなっているのか。みんな不安がっている。

■いま、裁判所から和解案がでていいる。補償費に合併特例債を使うとか、いったん家屋を移転したうえで掘削をするとかいうことを当局へ提案しているが、弁護士と相談して検討するということはまだ回答はない。

□光ケーブルが庁舎までは来ているが広がりがなくインターネットが利用できない。最近では、手続きなど「インターネットでご確認ください」といわれるがどうしようもない。議会の傍聴もインターネットではできない。庁舎の1階ロビーのテレビでも見ることはできず、職員の机上のパソコン一台でしか見ることはできない。光ケーブルが走っていないと企業誘致もできない。この情報格差はあまりにもひどい。過疎債など利用して整備してもらいたい。

■議会としても情報格差の問題は、当局に対し解消に向け取り組むよう要求し続けているがいろんな方法を検討中ということなので有効な回答は得ていない。情報網の整備計画を28年度につくるといっているのだからこれに期待したい。テレビでの傍聴に関しては、いつでも見られる状態である。

□特定健康診断の受診率が永田地区は20%ということに驚いた。受診率に応じた補助金を地区に出したらどうか。

■検診を含め健康維持につながるようなことをしたら点数がもらえそれによって賞品が当たるという取り組みは行っている。受診率に応じた地区への補助金については持ち帰って議論してみる。

□給食費の半額補助で給食費の滞納はなくなったのか。

■給食費の滞納は以前に比べ解消に向かい、今ほとんどないようである。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

□総務文教委員会の委員の意見として「地域分散型のこばやし大運動会についても検討すべきである」とあるが、須木地区でふるさと大運動会をしたがそういうことを言っているのか。

■1か所に集め開催することも大事だが、須木が復活された様にそういう地域ごとの運動

会の方がよりたくさんの方が参加でき、地域のつながりも生まれてくるので今後考えていくべきではないかと当局に提案した。